

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年10月10日

【四半期会計期間】 第13期第3四半期（自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日）

【会社名】 スター・マイカ株式会社

【英訳名】 Star Mica Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 水永 政志

【本店の所在の場所】 東京都港区虎ノ門四丁目3番1号

【電話番号】 (03) 5776-2701

（注）平成25年8月5日から本店は上記に移転しております。

【事務連絡者氏名】 取締役企画本部長 日浦 正貴

【最寄りの連絡場所】 東京都港区虎ノ門四丁目3番1号

【電話番号】 (03) 5776-2701

（注）平成25年8月5日から最寄りの連絡場所は上記に移転しております。

【事務連絡者氏名】 取締役企画本部長 日浦 正貴

【縦覧に供する場所】 スター・マイカ株式会社 横浜支店
（横浜市西区北幸一丁目11番11号）
株式会社東京証券取引所
（東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第12期 第3四半期 連結累計期間	第13期 第3四半期 連結累計期間	第12期
会計期間	自平成23年12月1日 至平成24年8月31日	自平成24年12月1日 至平成25年8月31日	自平成23年12月1日 至平成24年11月30日
売上高(千円)	9,748,194	10,172,270	12,857,962
経常利益(千円)	867,634	1,051,503	989,067
四半期(当期)純利益(千円)	486,266	635,669	538,576
四半期包括利益又は包括利益(千円)	487,086	646,512	568,002
純資産額(千円)	11,184,472	10,846,313	11,227,627
総資産額(千円)	31,184,347	33,578,008	32,367,188
1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	53.30	71.92	59.48
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	52.24	69.33	58.38
自己資本比率(%)	32.5	32.2	31.4

回次	第12期 第3四半期 連結会計期間	第13期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自平成24年6月1日 至平成24年8月31日	自平成25年6月1日 至平成25年8月31日
1株当たり四半期純利益金額(円)	18.70	32.83

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第1四半期連結会計期間において株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社の異動は、以下のとおりであります。

(インベストメント事業)

当第3四半期連結会計期間より、ソフィエル投資事業有限責任組合は、清算終了に伴い、連結の範囲から除外しております。

この結果、平成25年8月31日現在では、当社グループは、連結子会社3社により構成されることとなりました。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）業績の状況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、デフレ状況からの脱却に向けた金融緩和と景気回復のための各種政策への期待感から、為替相場は円安傾向に進み、株式市場も上昇するなど回復の兆しが見られるものの、欧州経済の停滞に加え新興国の景気減速の要素もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの属する中古マンション業界におきましては、（財）東日本不動産流通機構によると、平成25年8月度の首都圏中古マンションの成約件数は2,250件（前年同月比16.0%増）となり、12カ月連続で前年同月を上回っております。

また、首都圏中古マンションの成約㎡単価は、首都圏平均で40.01万円（前年同月比5.3%上昇、前月比1.8%上昇）で3カ月ぶりの上昇、成約平均価格は2,556万円（同3.5%上昇、同0.6%下落）で2カ月連続下落しております。

このような市場環境の中、当社グループは、基幹事業である中古マンション事業の収益力を引き続き強化し、販売、リノベーション等の周辺の事業領域にも収益機会の拡大を図ってまいりました。ニッチ市場である賃貸中の中古マンション物件については、賃料収入が安定的かつ確実な収益源として寄与しております。

当第3四半期連結累計期間は、本社事務所の移転等に伴い販売費及び一般管理費が増加したものの、中古マンション事業において販売数の増加と利益率が向上したこと等により、売上高、営業利益及び経常利益並びに四半期純利益が増加しております。この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高10,172,270千円（前年同四半期比4.4%増）、営業利益1,480,770千円（同15.2%増）、経常利益1,051,503千円（同21.2%増）、四半期純利益635,669千円（同30.7%増）となりました。

セグメントの概況は、次のとおりであります。

（中古マンション事業）

中古マンション事業におきましては、付加価値の高い物件作りに注力したため販売数・利益率が増加し、保有物件の増加に伴い安定的な賃貸利益を確保しております。この結果、売上高は9,498,180千円（同5.3%増）、営業利益は1,452,980千円（同7.8%増）となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間の売上原価に含まれる販売用不動産評価損は4,843千円であります。

（インベストメント事業）

インベストメント事業におきましては、前連結会計年度末までに保有不動産の売却が一巡したため、売上高が減少したものの、収益不動産への継続的な投資により賃貸利益が増加したこと等により、営業利益が増加しました。この結果、売上高は411,995千円（同24.2%減）、営業利益は92,151千円（同307.6%増）となりました。

（アドバイザー事業）

アドバイザー事業におきましては、仲介手数料収入、賃貸管理収入の増加により、売上高及び営業利益が増加しました。この結果、売上高は262,095千円（同40.0%増）、営業利益は208,604千円（同45.2%増）となりました。

（2）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

（3）研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	21,200,000
計	21,200,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年8月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年10月10日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	10,000,000	10,000,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	10,000,000	10,000,000	-	-

(注)「提出日現在発行数」欄には、平成25年10月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成25年6月1日～ 平成25年8月31日	-	10,000,000	-	3,573,038	-	3,541,478

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年5月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年8月31日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 1,136,700	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 8,863,000	88,630	-
単元未満株式	普通株式 300	-	-
発行済株式総数	10,000,000	-	-
総株主の議決権	-	88,630	-

【自己株式等】

平成25年8月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（％）
スター・マイカ株式会社	東京都港区赤坂二丁目17番22号	1,136,700	-	1,136,700	11.36
計	-	1,136,700	-	1,136,700	11.36

- (注) 1. 新株予約権の行使等により、当第3四半期会計期間末における自己株式数は1,012,741株（発行済株式総数に対する所有株式数の割合10.12％）となっております。
2. スター・マイカ株式会社の住所は、平成25年8月5日付で本店移転により東京都港区虎ノ門四丁目3番1号に変更しております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年6月1日から平成25年8月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年12月1日から平成25年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,891,801	1,807,030
営業未収入金	39,818	43,838
販売用不動産	¹ 23,986,207	24,658,744
繰延税金資産	27,404	31,311
その他	225,406	318,007
貸倒引当金	3,694	2,685
流動資産合計	26,166,943	26,856,246
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	¹ 1,977,446	2,459,353
減価償却累計額	585,706	715,590
建物及び構築物(純額)	1,391,740	1,743,762
土地	¹ 3,385,600	4,608,323
その他	¹ 43,759	47,240
減価償却累計額	34,839	27,014
その他(純額)	8,920	20,225
有形固定資産合計	4,786,261	6,372,312
無形固定資産	10,800	12,497
投資その他の資産		
投資有価証券	1,090,000	0
繰延税金資産	46,466	55,178
その他	266,715	281,773
投資その他の資産合計	1,403,182	336,952
固定資産合計	6,200,244	6,721,761
資産合計	32,367,188	33,578,008

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	139,932	158,894
短期借入金	1,803,240	1,294,700
1年内返済予定の長期借入金	4,703,539	2,908,961
未払法人税等	156,481	213,212
その他	585,203	658,935
流動負債合計	7,388,396	5,234,703
固定負債		
長期借入金	13,661,225	17,377,824
その他	89,938	119,168
固定負債合計	13,751,163	17,496,992
負債合計	21,139,560	22,731,695
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,573,038	3,573,038
資本剰余金	3,541,478	3,552,559
利益剰余金	3,756,179	4,285,850
自己株式	694,732	588,924
株主資本合計	10,175,964	10,822,524
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	24,339	27,045
その他の包括利益累計額合計	24,339	27,045
新株予約権	54,774	50,833
少数株主持分	1,021,228	-
純資産合計	11,227,627	10,846,313
負債純資産合計	32,367,188	33,578,008

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年12月1日 至 平成24年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年8月31日)
売上高	9,748,194	10,172,270
売上原価	¹ 7,580,186	¹ 7,686,321
売上総利益	2,168,008	2,485,949
販売費及び一般管理費	² 883,071	² 1,005,178
営業利益	1,284,936	1,480,770
営業外収益		
受取利息	708	605
償却債権取立益	2,033	-
補助金収入	2,375	-
その他	1,719	1,083
営業外収益合計	6,837	1,689
営業外費用		
支払利息	320,414	340,565
支払手数料	103,724	84,945
その他	0	5,445
営業外費用合計	424,139	430,956
経常利益	867,634	1,051,503
税金等調整前四半期純利益	867,634	1,051,503
法人税、住民税及び事業税	339,809	413,406
法人税等調整額	16,239	11,120
法人税等合計	356,049	402,285
少数株主損益調整前四半期純利益	511,585	649,218
少数株主利益	25,318	13,548
四半期純利益	486,266	635,669

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年12月1日 至 平成24年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	511,585	649,218
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	24,499	2,705
その他の包括利益合計	24,499	2,705
四半期包括利益	487,086	646,512
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	461,767	632,964
少数株主に係る四半期包括利益	25,318	13,548

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

(連結の範囲の重要な変更)

ソフィエル投資事業有限責任組合は当第3四半期連結会計期間において清算終了したため、連結の範囲から除外しております。ただし、清算終了までの損益計算書は連結しております。

【会計上の見積りの変更】

(耐用年数の変更)

当社が保有する「建物及び構築物」及び「その他」の一部は、第2四半期連結会計期間において、本社事務所の移転を決定したため、移転に伴い利用不能となる資産について耐用年数を移転月までの期間に見直しております。

なお、これによる影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1. 販売用不動産に振り替えたものは以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
建物及び構築物	77,994千円	-千円
土地	159,548	-
その他	38	-

(四半期連結損益計算書関係)

1. 売上原価に含まれるたな卸資産の収益性の低下による簿価切り下げ額は次のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)
47,912千円	4,843千円

2. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)
役員報酬	96,600千円	117,450千円
給与及び賞与	273,679	279,034
租税公課	211,838	233,055

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)
減価償却費	123,174千円	161,170千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成23年12月1日至平成24年8月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年1月16日 取締役会	普通株式	60,000	600	平成23年11月30日	平成24年2月23日	利益剰余金
平成24年6月29日 取締役会	普通株式	53,333	600	平成24年5月31日	平成24年8月6日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、当第3四半期連結累計期間において、平成24年1月16日、平成24年2月9日及び平成24年7月19日開催の取締役会における自己株式の取得決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この自己株式の取得等により、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が656,971千円となりました。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年12月1日至平成25年8月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年1月11日 取締役会	普通株式	52,818	600	平成24年11月30日	平成25年2月27日	利益剰余金
平成25年6月28日 取締役会	普通株式	53,179	6	平成25年5月31日	平成25年8月5日	利益剰余金

(注)平成24年12月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を実施しております。なお、平成25年1月11日取締役会決議に基づく1株当たり配当額については、当該株式分割前の金額を記載しております。

2. 株主資本の金額の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成23年12月1日 至平成24年8月31日)
 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	中古マ ン ション事業	インベ スト メント事業	アドバ イザ リー事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上 高	9,017,542	543,476	187,175	9,748,194	-	9,748,194
セグメント間の内部 売上高又は振替高	13	-	223,830	223,843	223,843	-
計	9,017,555	543,476	411,006	9,972,038	223,843	9,748,194
セグメント利益	1,347,249	22,606	143,658	1,513,514	228,577	1,284,936

(注)1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費の全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)
 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	中古マ ン ション事業	インベ スト メント事業	アドバ イザ リー事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上 高	9,498,180	411,995	262,095	10,172,270	-	10,172,270
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	243,106	243,106	243,106	-
計	9,498,180	411,995	505,201	10,415,377	243,106	10,172,270
セグメント利益	1,452,980	92,151	208,604	1,753,735	272,964	1,480,770

(注)1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費の全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	53円30銭	71円92銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	486,266	635,669
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	486,266	635,669
普通株式の期中平均株式数(株)	9,123,028	8,838,913
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	52円24銭	69円33銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	185,951	330,279
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 当社は、平成24年12月1日付で株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成25年6月28日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額.....53,179千円

(ロ) 1株当たりの金額.....6円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成25年8月5日

(注) 平成25年5月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年10月9日

スター・マイカ株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 若原 文安 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 橋本 裕昭 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているスター・マイカ株式会社の平成24年12月1日から平成25年11月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年6月1日から平成25年8月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年12月1日から平成25年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、スター・マイカ株式会社及び連結子会社の平成25年8月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。